

医療機関ごとの治療実績を伝える「病院の実力」。今月は心臓や血管の病気がテーマだ。昨年4月の掲載に続く心臓の病気では、心筋梗塞や狭心症に対する冠動脈バイパス手術とカテーテル治療に加え、心臓弁膜症の手術件数を掲載した。

心臓・血管の病気

病院の実力

～愛知編20

大動脈瘤手術 破裂予防が9割

心筋梗塞や狭心症は、心臓血管を移植する。また、カテーテル治療は、脚の付け根などの血管から細い管を通し、冠動脈を広げる。血液の逆流をを防ぐ弁が正常に働かなくなる大動脈の一部が、加齢などが原因で弱くなり瘤状に膨らんでいく。大動脈の瘤のある部分を切り取り、人工血管を縫いつける人工血管置換術を一般に行う。今回の調査で、9割近くが予防的な手術、1割強が破裂後の緊急手術だった。また、脚の付け根からカテーテルを通し、瘤のある部分の血管に金属製の筒(ステントグラフト)を挿入する治療が2年前に保険適用され、回答施設のうちの約4分の1で行われていた。

技術進歩し 死亡率低下

現在心臓疾患に対するカテーテル治療は多くの施設で行われていますが、バイパス手術や弁膜症手術などの心臓手術を行っている病院は比較的に限られています。心臓手術は難易度が高く、技術の差が成績の差につながります。

県立循環器呼吸器病センター副院長 松浦昭雄さん 54



りますが、その技術を維持するためにはある程度の症例数が必要であるとされています。ただし、最近では糖尿病や高血圧、腎不全などの合併症を持つ患者さんが増えていますが、そのような重症患者さんの多い施設では成績が悪くなる傾向がありますので、発表される手術件数や死亡率だけでは施設の良否の判断は難しいという側面もあります。また、心臓疾患の治療は循環器内科医と心臓外科医との協力によってなされますので、両者のチームワークが良いことも重要です。

治療技術の進歩により心臓手術の成績は向上してきています。その成績も比較的安定しています。近年の傾向として、高齢者の手術が増えています。80歳を超える高齢者に対しても心臓手術ができるようになり、

その成績も比較的安定しています。今回の調査で、9割近くが予防的な手術、1割強が破裂後の緊急手術だった。また、脚の付け根からカテーテルを通し、瘤のある部分の血管に金属製の筒(ステントグラフト)を挿入する治療が2年前に保険適用され、回答施設のうちの約4分の1で行われていた。

医療機関名	心筋梗塞・狭心症治療		弁膜症手術	大動脈	
	冠動脈バイパス手術	心臓カテーテル治療		人工血管置換術	ステントグラフト内挿術
名古屋徳洲会総合	89	495	70	60	0
県立循環器呼吸器病七	87	333	58	38	0
豊橋ハートセ	77	1148	132	34	0
藤田保健衛生大	64	-	28	46	19
中部労災	44	402	14	19	0
名古屋掖済会	43	238	14	21	0
名古屋共立	41	475	20	9	0
豊田厚生	41	287	20	-	-
小牧市民	40	-	34	20	-
愛知医大	38	300	27	29	42
刈谷豊田総合	30	180	14	18	2
社会保険中京	23	210	5	24	0
春日井市民	19	326	11	30	17
公立陶生	9	534	15	13	0
あいち小児保健医療総合セ	1	35	0	-	-
名古屋大	-	-	-	52	47
市立半田	-	547	-	12	0
安城更生	-	491	-	-	-
海南	-	344	-	-	-
名古屋市立大	-	115	-	-	-
県総合医療セ	38	472	33	34	0
岐阜大	38	143	29	39	0
大垣市民	37	688	38	32	7
国・長良医療セ	21	113	26	9	7
岐阜市民	8	-	4	27	0
土岐市立総合	0	50	0	0	0
県立多治見	-	210	-	25	6
中濃厚生	-	156	-	0	0
市立四日市	56	430	68	32	5
山田赤十字	49	230	65	28	12
県立総合医療セ	29	150	13	12	0
三重大	22	220	49	38	47
済生会松阪総合	0	151	0	0	0
鈴鹿中央総合	-	305	-	-	-
平田循環器	-	125	-	-	-

※「国・」は国立病院機構、「セ」はセンター。「-」は未回答。

